

新たな価値を吹き込み、工作機械の寿命を伸ばす。

中古マシンの再生で製造事業者をサポート。

大規模マシンセンターには

各種中古機械がずらりとそろう

メカニーは各種の中古工作機械を買取り販売する事業者。主力は金属板の切曲・穴あけ加工をする板金加工機械だ。

愛荘町の「滋賀マシンセンター」を訪ねた。金属板を折り曲げるベンディングマシン、さまざまなサイズに切断するシャーリング、穴あけ・切断溶接を行うレーザー加工機。板金加工の専用マシン以外にも、幅広い金属加工に使える旋盤、フライス盤やボール盤、研削盤等の工作機械が1500坪の展示スペースにひしめく。

宇治市と西宮市、北九州市にもマシンセンターを所有し、4カ所合わせると常時600台から700台の中古機械が出荷を控えている。

「ニーズが十分にあり、性能・状態ともに良好な中古機械」を多方面から調達する。そして加工製品の精度や品質を高め、生産の効率化やコストダウンを図りたいユーザーにリーズナブルな価格でスピーディーに提供する。これがメカニーのビジネスモデルだ。



さまざまな中古機械を常時展示販売している滋賀マシンセンター

エンジニアによる整備や機械操作の指導までできる技術力

「かつては工作機械を導入すれば10年以上使うのが常識だったが、急激な技術の進化、多品種少量生産の定着など、時代の変化に対応して短いサイクルで設備投資を検討する加工業者が増えている。新規に設備を導入すれば、手持ちの機械は売却される。法定耐用年数を待たず

に手持ちのマシンを売り、最新のものを導入したいと考える企業がある一方、1、2年だけの短期の受注に因應するため旧モデルを導入すれば十分の企業もある。このような会社をつなぐリンク機能を果たせば、どちらの企業にも、利を得てもらうことができる。これこそが当社の役割。機械の新陳代謝を促す媒介となつて、金属加工業界のお手伝いをしていきたい」。吉田周治社長はそう話す。

金属加工用の中古機械を扱う業者は全国に1千社以上あるが、板金加工分野で同社はトップクラスと吉田社長は胸を張る。

大規模なマシンセンターを所有して、専任の技術スタッフも擁している。機械の据え付けや試運転、アフターケアもできるうえ、操作の指導や生産性を高める助言まで行う。これがメカニーならではの強みだ。販売先からは「生産効率化のサポーター」と頼られ、高い競争力につながっている。

ある板金加工業者はメカニーから穴あけ加工のラジアルボール盤を導入した。その機械を使った経験がなく、使いこなすまでに時間を要すると思っていたが、販売担当者から操作法の指導を受けたおかげで、想定よりも早く導入効果が表れた。



近隣の加工業者の皆さんにも便利な存在(京都マシンセンター)



プレスプレーキの試運転をする同社スタッフ

また、ある事業者からは「今より高い性能の加工機が欲しい」と漠然としたオーダーを受けた。メカニーでは現場が抱える悩みを丹念に聞き取り、事業者にとつて最適なマシンを提案した。この事業者とは業務改善の助言を繰り返し、10年以上の付き合いとなつている。「大事なことは自分の思いを遂げるのではなく、相手の思いを遂げさせてあげること。こうした気持ちがあれば、たとえ失敗したとしてもトラブルになることはないし、相手に納得してもらえる。商売も長続きすることになる」これが吉田社長の姿勢だ。

「仕入れの目利き」が勝負を決める

メカニーが板金加工マシンに精通しているのは、

吉田社長をはじめ大手工作機械メーカー出身のスタッフがそろつているためだ。「総合的な技術サポートがあれば中古機械に新たな価値を吹き込み、寿命は伸びる。また、どんな中古機械を仕入れても売る相手をすぐに見つけ出せる。当然、次のトレンドも予測できるから機械の値付けも的確に判断できる」と吉田社長は自社が持つ数々の強みを挙げる。

「仕入れは販売よりずっと難しい。駆け引きも必要だしタイミングも大切。売れる機械は市場のニーズで決まるので、ニーズの先読みは特に重要だ。常に市場の動きに敏感であるように努めている」。

ホームページの充実により海外向け販売が伸びる

豊富な在庫を検索できるホームページも充実。それが奏功して販路が広がり、国内はもとより韓国や台湾などアジア各国の企業への販売も伸びている。日本製の中古機械は稼働中の丁寧な手入れが評価され人気が高い。そんな中で力を発揮するのが、機械の展示場としてのマシンセンター。名神高速道路湖東三山スマートインターチェンジより2分というアクセスに恵まれた滋賀マシンセンターを2倍に拡張して、在庫を集約し効率化を図ろうとしている。「来春竣工すれば機械と販売先のマッチングがさらに円滑に進められる。今後も中古機械の再生(リバース)を通じて世界のものづくりを支えたい」。吉田社長はそう抱負を語る。

Voice 代表取締役社長 吉田 周治氏

日本の国際競争力を支えマザーマシンと呼ばれる工作機械。その工作機械の流動性を高め、新たな働き場所を提供する。これこそが当社の使命です。中古機械の再生(リバース)は循環型社会実現に適応します。



Profile 株式会社メカニー

<http://www.mechany.com/>



滋賀マシンセンター

- 本社/大津市一里山1-1-1-605
- 滋賀マシンセンター/滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外473
- 設立/1998年
- 資本金/2,000万円
- 従業員数/25名
- 事業内容/新品・中古機械の販売、中古機械の査定・買取・メンテナンス、中古機械入札会の開催・運営